

再生

再生の題字（森迪彦様提供）は、森信三先生の直筆です。



師友道友の活動を綴る善行伝承誌

悟りとは、他を羨まぬ心的境涯ともいえよう。

森信三先生一語千鈞より



第0053号

2021.1月号

令和参年

実践人福岡仁風読書会

現代における孝の哲理

森 信三先生 講述

— マナコを閉じて親の祈り心を —

十孝とは親の祈り心への目覚めに始まりその洞察によって深まる

考とは

ここで「考」とは何かということ、もはや申すまでもないことといえるかと思えます。すなわち「考」とは、これを端的に申すとすれば、子として「親の祈り心」に目覚めるということであります。即ち親はこれほどまでにわたしの身辺や行動、さらにはその将来までも案じて下さったのか、と改めて親の祈り心に目覚め、改めて真剣に生きねばならぬと覚悟を新たにすることだと申せましょう。

ここでひとつ詩人坂村真民氏の詩の一節を読んでみましょう。

母上よ あなたは七十の坂を超え わたくしも人生四十の歳を過ぎました。

四十二で亡くなられた父上の歳になって 始めて父上の偉大であった事も真実わかりました。それがわかると同時に、自分があなた方の子としてどんな人間となり、なにを為さねばならないか そんなことが今にしてやうやく自覚されてきたのです。母上よ お体を大切にしてい つまでも生きていて下さい あなた一人を家において そんなことも言えない 長男のわたしですが、わたくしがお願ひするのは それだけなんです…(後略)

もひとつ短かい詩を読みましょう。

昼の月を見ると 母を思う こちらが忘れていても

ちやんと見守つて下さる 母を思う

かすかであるがゆえに かえつて心にしみる 昼の月よ

詩集「父」では最後に、かねてわたくしが宮崎の高土であり、さらに又稀に見る

実践人福岡仁風読書会 第49回 12月5日(土)

場所福岡県糟屋郡志免町向ヶ丘2丁目4番3号 仁風庵にて

(実践人の家の会員であればどなたでも参加できます)

(参加費無料) 詳細は、世話人へお問い合わせください。

孝子として多年尊敬している杉田正臣先生の詩集「父」をご紹介します。

この詩集にのせられた百篇の詩は、ことごとく今は亡きご尊父さまに対して限りなき敬慕の真情を吐露されたものでありまして、現代稀にみる「考の詩集」とも申すべきものであります。よつて次にその内から三篇を朗読してみることいたします。

父は 一つラクダの襟巻を五十年間愛用した

父の 遺愛の襟巻を私は十年以上愛用している

父の 襟巻には暁天の星ほどの虫の穴がある

父の 襟巻を 首に巻くと私は父の暖かさを感じる

父の 襟巻を 首に巻くと私は父と共に在るのを感じる

父の 襟巻の ある限り私の冬は暖かい

父と私とは 同居五十年同業三十年を恵まれた

父は私の幼年時代少年時代 私の父であり保護者であった

父は私の青年時代 私の父であり師であった

私は私の壮年時代 私の父であり師であり友であった

父と私とは 次第に以心伝心の世界でつながれていた

幼年の日 父に手をひかれて神苑の鶴を見た

幼年の日 父に手をひかれて県庁を見た

幼年の日 父に手をひかれて大淀川を見た

幼年の日 父に手をひかれて宮崎病院を見た

七十年近い今日 父の大きな温かい手を憶う

母のない子 (一)

手記

習字にしても、初は人の邪魔ばかりしていましたが、上級生になってからは、自分で準備し、まじめに書くようになりました。六年の卒業まぎわ、彼の卒業作品が学校の中央廊下に貼り出され、友人も激賞しておりましたが、いかにも得意気な彼の姿は無邪気そのものでした。

道徳的行為にはまだまだ問題が多かったが、学習面については著しい進歩をみせはじめ、特に社会科の学習には非常に積極的で、学習前の課題をよく研究してノートにまとめ、授業中によく手を挙げて発表したり、人の発表をきいて質問ができるようになっていました。テストも百点をしばしば取り、優秀児でさえM君には参ったと言ったほどでした。

マラソンの数日前、もう一人のF(四年の時シグナルをこわした事件で新聞にまでのつた問題児)と二人をよんで

「いよいよ小学校最後の行事だ。全力をつくしてがんばれ。」

と有終の美を飾るように努力するよう言い含めておきました。Fは優勝候補を大きく引き離してゴールインし、背の低いMも頭をふりふりがんばつて六位に入賞の栄冠をかちとりました。講堂で表彰式がある時、おそらく全校生徒の前で賞状を貰うために名前を呼ばれたのは彼らの六ヶ月間の歴史の上ではじめてであり、おわりではないかと思われます。一位のFは、全部の代表として賞状を受け取りに行きました。Mは顔をあからめてニコニコしていました。母のない彼に必要なのは母にかわる愛情です。子どもたちの一つのたまり場になっているころ、子どもたちが案外自由にものを言っている人、たやすくつ

きあえる人、学校の用務員の木村さんに協力を依頼してみました。おばさんは、彼の郊外生活を話してくれたり、又、彼が買物にきまつて行く店で話しかけたりして善導してくれました。彼が一生けんめい掃除している時など、ほめていただいたり、洋服が破れているときつくるつて下さった事もたびたびです。

Mは一人ぼっちではなくなりました。PTAの方々も協力され、社会科見学、修学旅行キャンプ演習などの時の金銭の援助から、母親代りに家庭によんで遊ばせて下さった方もありました。卒業式にもとうとう父親は来ませんでした。「卒業の日ぐらいは」という父親の無理解に対する憤りの言葉を何人からか聞きましたが、それも、学校に対する思いやりからで、それでも同部落の人たちは彼を仲間に入れ、たくさん御馳走を与えて、一しよに楽しませて下さいました。

併しながら、何と言ってもMが一番助かったことは、楽しかったことは、学級みんなが友達だという深い理解のもとから差別なく遊びの仲間に入れてくれたり、いっしよに勉強の仲間に入れてくれたりした力の大きかったことだと思えます。四年の頃は、Mと座席を共にすることをあんなに嫌がっていた友達が六年になると毛嫌にする雰囲気は全く消えうせ、むしろ、ある子の如きは自分から進んで相談相手になってやろうと申し出る者さえ出てきました。学校には校風があり、級風があります。これは動かしがたい力があります。しかもこれは、校長・職員・子ども・PTAの心の結合から生み出されて参ります。Mはそういう環境に育ったから救われたのです。……………略

日本一きれいな博多駅・福岡の街に！

第 325 回

博多駅 早朝清掃

毎月 **8** 日 午前 6 時 15 分～

【第一回】平成 5 年 12 月 8 日開催

福岡実践人・JR 九州博多駅
精華女子高等学校・福岡掃除に学ぶ会

 ハウスメイト

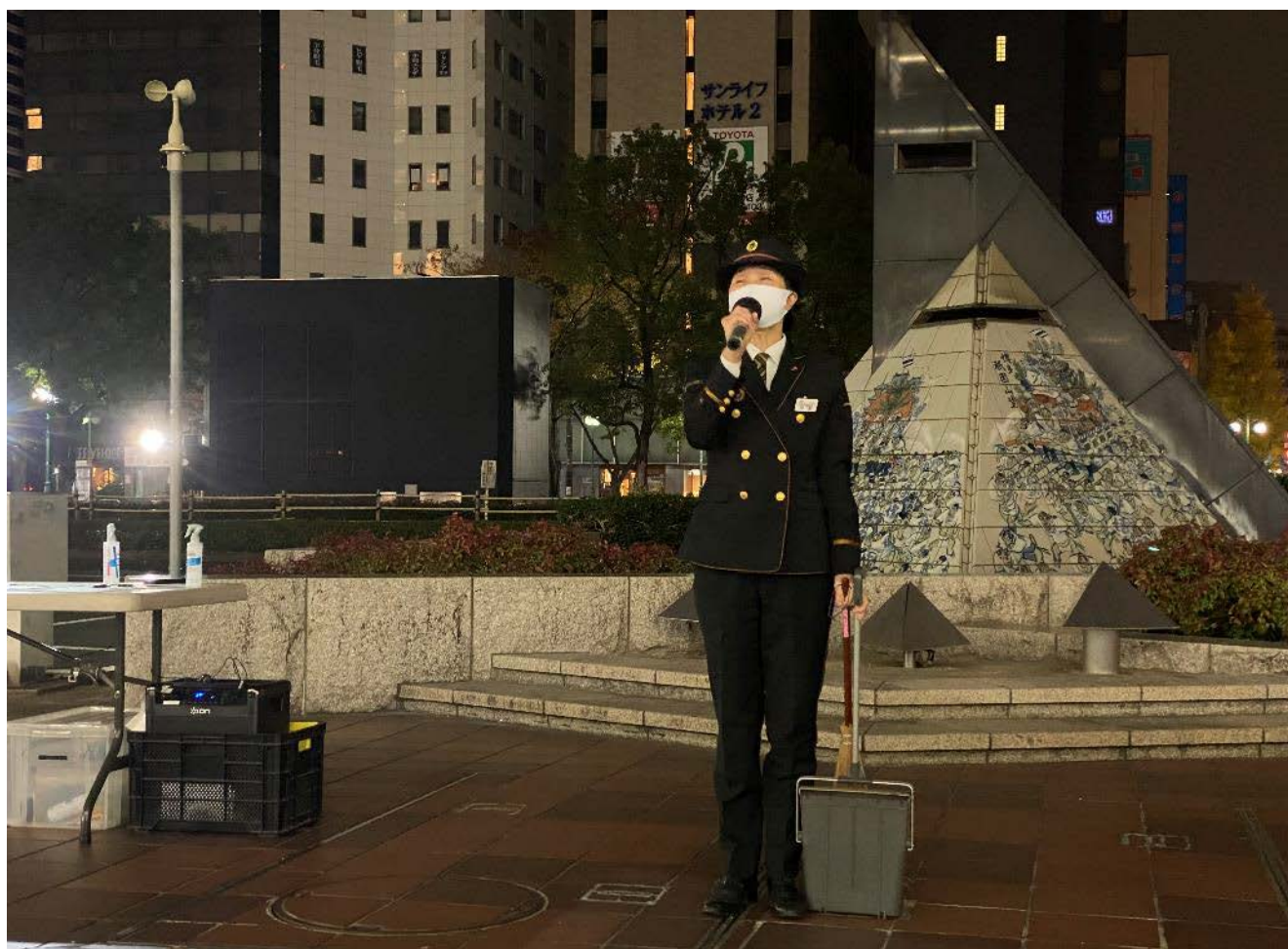


第325回 博多駅早朝清掃

28年目・・・

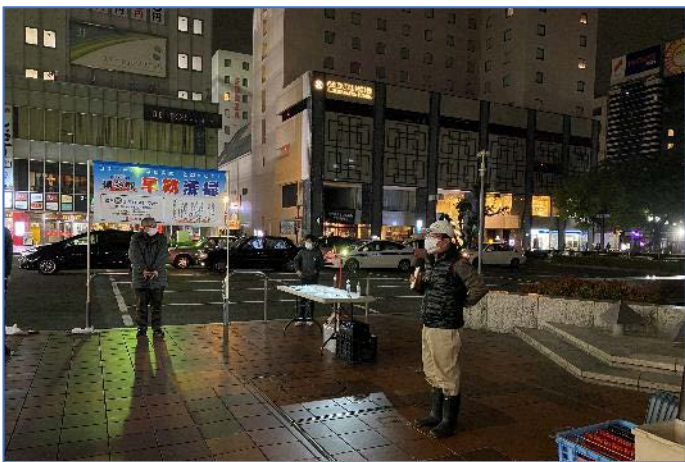
12月8日(火曜日)

99名参加



第 3 2 5 回 目、2 8 年 目 の ス タ ー ト 月 と な っ た 1 2 月 8 日 は、9 9 名 の 参 加 で の 活 動 と な り ま し た。コ ロ ナ 渦 で は ご ざ い ま し た が、高 校 生、大 学 生 と 多 く の み な さ ん で コ ロ ナ 渦 仕 様 の 準 備 を 手 伝 っ て い た だ き ま し た。

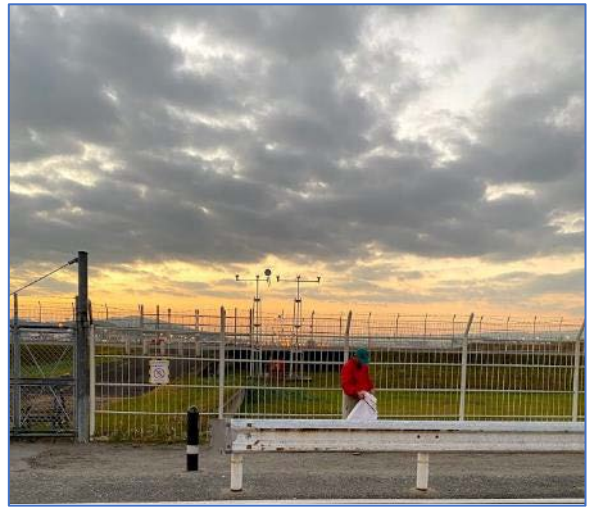
進 化 し 続 け、み な が 協 力 し 合 っ て 博 多 駅 早 朝 清 掃、帆 足 先 生 の 望 ん だ と お り の 活 動 で す。 世 話 人：富 吉 袈 裟 右 衛 門 拝



第31回 福岡空港ミリオン清掃

12月5日(土曜日)

5名参加



新飯塚駅早朝清掃/いづか明星寺団地自治会

12月19日(土曜日) 6名参加



新飯塚駅の早朝清掃を、明星寺団自治会長の小池さんが博多駅早朝清掃に習い開始されてから早三年が経過いたしました。駅周辺は高層マンションが林立しどんどん変化して行きました。福岡市内から50分かけて参加される方、宗像市内から40分かけて参加される方、たくさんの方に参加して頂きました。三年前とは見違える程に綺麗になって来ました。この活動がもっともっと地域の方の一部になっていただき継続されることに繋がる活動に令和三年はなれるように努めて行きたいと思えます。

令和を巡る早朝清掃／戒壇院 2020.1.25～

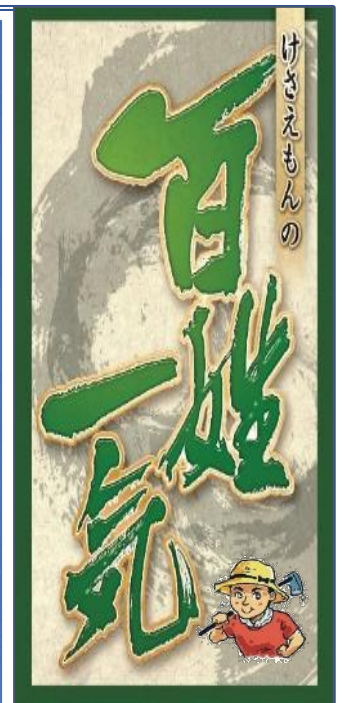
12月26日(土曜日)





楽農人宇美試験農場に炭素循環農法の城先生来場

2020/12/12



糸島市の炭素循環農法の生産者の皆さんとの交流

2020/12/20



2020/12/20



志免町の耕作放棄地



2020/12/30



楽農人試験農場のニンニクもみ殻ぼかし敷き込み

2020/12/29



酒殿の生産者支援

2020/12/30

耕作放棄地再生と清爽活動in酒殿2020.12.29~

12月29日(火曜日)



JR九州香椎線の酒殿駅は南口が田んぼを新興住宅地として再開発、南口は田苑風景。
ここで自然農に取り組むTさんの支援を始めた楽農人は、先ず周辺の環境整備からと、最寄りの酒殿駅の清掃を生産者と始めました。
令和三年からはトイレ掃除も定期的の実施いたします。生産者と消費者が安全安心な至福の野菜を求めて集う場所『日本一きれいな無人駅酒殿』を目指して
楽農人：けさえもん拝

生存競争という言葉があります。生きものが生き残ってゆくには、競争が不可欠だという考えが、この言葉の背後にあります。水や草も生存競争をしながら生きてゆく、というわけです。ほんとうに、そのようなでしょうか。ぼくはそうは思いません。

もちろん、大地に芽生えた木や草がすべてすくすく育つとはかぎりません。途中で枯れてしまう木や草がたくさんあります。もしそうでなかったら、たちまち大地が足らなくなってしまう。

枯れてゆく木や草は生存競争に敗れたのでしょうか。ぼくはそうは思いません。それらの木や草は、ほかの木や草と争って、その競争に負けたのではなく、生きのびる運がなかったのだと、ぼくは思います。こんな言葉はありませんが、ぼくは「生存競争」の代わりに「生存運」という言葉を使いたいと思っています。

いつか山にくだしい人と二人で山道を歩いていたとき、その人がひょういとしがんで、道ばたの小さな草を指し、「これ、トチの木ですよ」と言いました。ぼくにはとても木とは思えません。つまようじほど細く青いくきの先に小さな一枚の葉をつけているカイワレ野菜のようなものでした。彼は、「ほんとうにトチの木なんですよ」と言っていて、くきのまわりを指先でそっと掘って見せてくれました。やわらかい腐葉土のなかから、クリの実よりもひとまわり大きなトチの実が出てきました。そのトチの実を割って、モヤスミみたいな芽が出、地上に青みがかかった細いくきをのばしているのです。

彼がトチの実にそっと土をもどしてやり、思わず二人そろって、「大きくなれよ」とつぶやいたものでした。あのトチの稚樹、生まれたての赤ん坊であつたあの稚

樹が、その後どうなったかは知りません。もしよかつたら、いまごろはぼくの背をはるかに超える木に育っているでしょう。けれども、そのためには数えきれないほどの幸運にまぐまれなくてはならないでしょう。

まだ小さいうちに、シカに食べられてしまったかもしれません。登山道のすぐわきでしたから、登山者が知らずに踏んでしまったかもしれません。クマに踏まれたかもしれません。すこし大きくなつても、邪魔な木とみられて引き抜かれたかもしれません。大雨の泥流で流されてしまったかもしれません。日照りがつづいて枯れたかもしれません。大きな木々に太陽の光をさえぎられて、成長しきれずに終わったかもしれません。

そんなことが一つもないという運にめぐまれたら、あの小さなトチの木は、若木に育ち、もつと運に恵まれたら、いつか大きな木になるでしょう。トチの木はひとかかえも、ふたかかえもある巨木に育ち、たくさんのトチの実をつけて、大地に落ちたその実からまたたくさんの稚樹が芽生えます。

森を歩いていると、いろいろな木の稚樹に出会います。ホオノキなんかは、まだ赤ん坊のくせに、ちゃんと大きな葉をつけていて、なんだかおかしくなります。いつか樹齢八〇〇年と言われるイチヨウの木は、苗木をもらってきて鉢に植えていたことがありますが、割りばしの半分ほどでもないこの木が、やがて小さいながらイチヨウのあの葉をつけ、秋になるとその葉が黄葉して落ちるのを、ほほえましく見ていたものです。

森のなかのそれら無数の幼い木が、全部巨木になるはずがありません。それぞれの幼木にこのさきどんな運命が待っているのか、それを思うと森はドラマに満ち

た世界です。生存競争の激しいドラマではなく、生存運の静かなドラマです。森を歩いている、ぼくはしばしば立ちどまり、sひやがみこみ、木にもたれ、目を閉じ、森のドラマに耳を傾け、時の過ぎるのを忘れそうになります。

木のことば、森のことばより

二〇〇五年 高田 宏 筑摩書房

二〇二〇年十二月二五日

広葉の林を育てる会

興膳 丈治





再生一月号

令和参年一月八日発行（毎月一回八日発行）創刊 平成二十八年九月一日 発行人 富 袈裟右衛門

	1 月の活動予定表									2 月の活動予定表								
日	2	8	9	10	16	17	23	24	31	6	7	8	13	14	20	21	27	28
曜	土	金	土	日	土	日	土	日	日	土	日	月	土	日	土	日	土	日
行事活動名	福岡空港ミリオンプ清掃 第32回	博多駅早朝清掃 第326回	JR酒殿駅早朝清掃 令和三年スタート	楽農人遊休農地再生楽交inかすや	新飯塚駅早朝清掃	楽農人遊休農地再生楽交inかすや	令和を巡る早朝清掃	楽農人遊休農地再生楽交inかすや	楽農人遊休農地再生楽交inかすや	福岡空港ミリオンプ清掃 第33回	楽農人遊休農地再生楽交inかすや	博多駅早朝清掃 第327回	JR酒殿駅早朝清掃 第2回	楽農人遊休農地再生楽交inかすや	新飯塚駅早朝清掃	楽農人遊休農地再生楽交inかすや	令和を巡る早朝清掃	楽農人遊休農地再生楽交inかすや
場所	福岡空港 周辺一万m	博多駅筑紫口	JR香椎線 酒殿駅北口	福岡県 宇美志免粕屋	福岡県飯塚市新飯塚駅	福岡県 宇美志免粕屋	福岡県太宰府市 戒壇院	福岡県 宇美志免粕屋	福岡県 宇美志免粕屋	福岡空港 周辺一万m	福岡県 宇美志免粕屋	博多駅筑紫口	JR香椎線 酒殿駅北口	福岡県 宇美志免粕屋	福岡県飯塚市新飯塚駅	福岡県 宇美志免粕屋	福岡県太宰府市 戒壇院	福岡県 宇美志免粕屋
開始時刻	6時30分	6時15分	6時30分	10時	6時30分	10時	6時30分	10時	10時	6時30分	10時	6時15分	6時30分	10時	6時30分	10時	6時30分	10時
運営団体	福岡清爽クラブ	福岡清爽クラブ	福岡清爽クラブ 楽農人耕作放棄地再生支援校	福岡清爽クラブ 楽農人耕作放棄地再生支援校	いづか清爽クラブ	福岡清爽クラブ 楽農人耕作放棄地再生支援校	福岡清爽クラブ	福岡清爽クラブ 楽農人耕作放棄地再生支援校	福岡清爽クラブ 楽農人耕作放棄地再生支援校	福岡清爽クラブ	福岡清爽クラブ 楽農人耕作放棄地再生支援校	福岡清爽クラブ	福岡清爽クラブ 楽農人耕作放棄地再生支援校	福岡清爽クラブ 楽農人耕作放棄地再生支援校	いづか清爽クラブ	福岡清爽クラブ 楽農人耕作放棄地再生支援校	福岡清爽クラブ	福岡清爽クラブ 楽農人耕作放棄地再生支援校

発行人(編集人) 富吉 袈裟右衛門

- ◇NPO法人福岡実践人 福岡清爽クラブ
 - ◇一般社団法人 実践人の家 福岡仁風読書会
 - ◇NPO法人 楽農人 耕作放棄地再生支援楽校
- 〈合同事務局〉 〒811-2247



福岡県糟屋郡志免町向ヶ丘2丁目4番3号 <<仁風庵>>
 TEL 092-931-8155(掃除) 931-8150(読書) FAX 092-931-8120
 E-mail fukusoukai@souji.link (掃除)
 kesa@rakunoujin.com(農業)



「再生」に掲載している写真は、富吉が撮影・管理しています。必要な方は事務局までご連絡ください。